

嵐電西院駅 嵐山方面行きホームを移設するとともに

阪急西院駅 北・南改札口を新設し、3月25日(土)より供用を開始します

～エレベーターの新設等により、段差なく円滑な移動が可能となります～

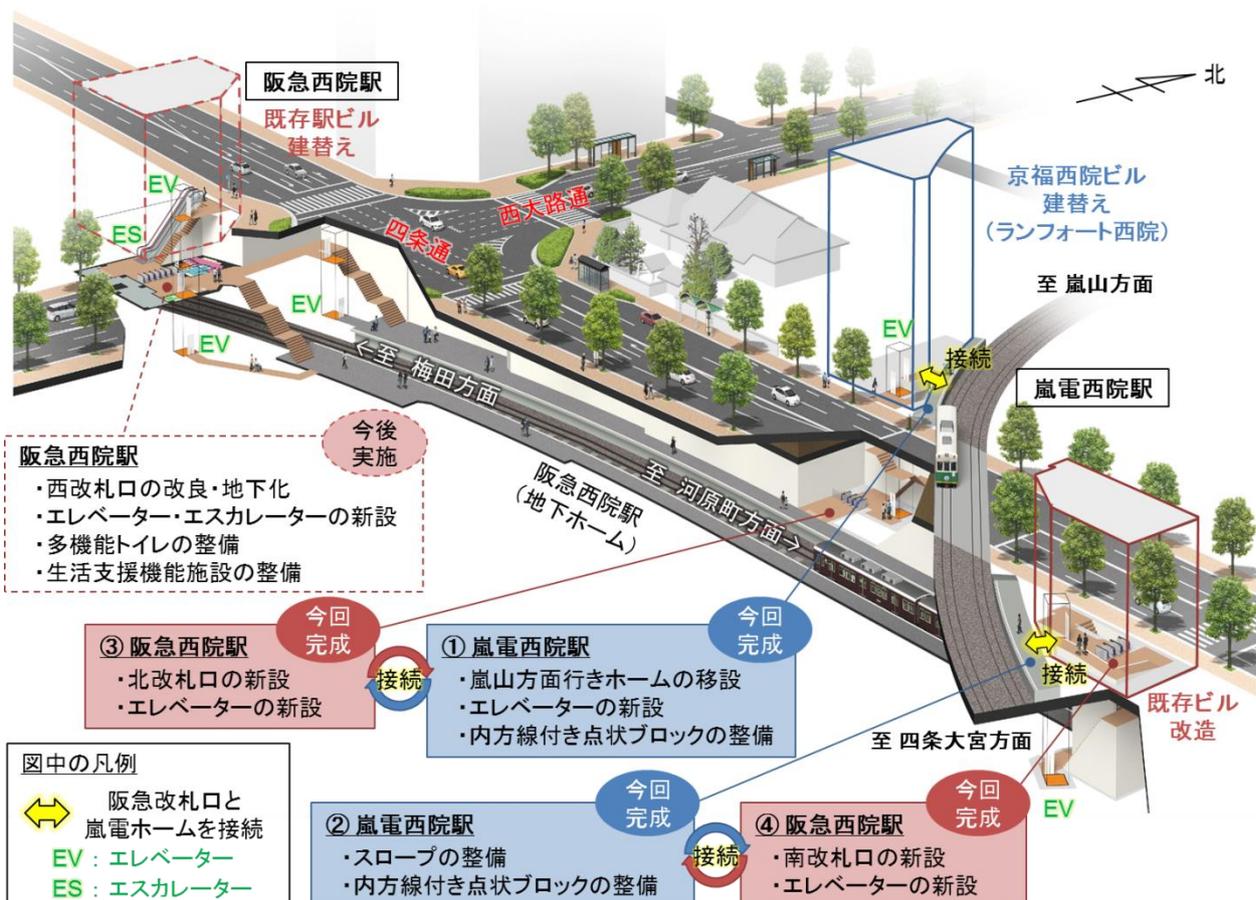
京福電気鉄道と阪急電鉄では、「西院地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」に基づき、京福電気鉄道嵐山線（嵐電）西院駅および阪急西院駅の更なる安全性と利便性の向上を図るため、バリアフリー化工事を協力して推し進めています。

この度、嵐電西院駅嵐山方面行きホームの四条通北側への移設、京福西院ビルの建替え（新ビル名称：ランフォート西院）ならびに阪急西院駅北改札口および南改札口の新設が完了致しますので、3月25日（土）午前10時より供用を開始します。これにより、両駅の乗継利便性が向上するほか、エレベーター2基の新設などにより段差が解消され、円滑に移動することが可能となります。

今後も、阪急西院駅の西改札口の改良や駅ビルの建替え等に取り組み、駅機能の高度化を図るとともに、より一層の安全性と利便性の向上を目指してまいります。

なお、本事業は、国土交通省等の「鉄道駅総合改善事業費補助」制度による「連携計画事業」で、国および地方公共団体から補助を受けた「西院駅周辺地域整備協議会」が事業主体となって、同協議会から委託を受けた両社が推進しており、2019年度末の完成を予定しています。

事業の詳細については次頁のとおりです。



《事業の詳細について》

1. バリアフリー施設・設備の供用開始日時

3月25日（土）午前10時より

2. 今回完成する事業内容

【嵐電西院駅】^{さい} 駅所在地：（嵐山方面行きホーム） 京都市中京区壬生淵田町18番地

（四条大宮方面行きホーム）京都市中京区壬生仙念町16番地

① 嵐電嵐山方面行きホームの移設

- ・ 阪急西院駅北改札口との接続のため、四条通南側から北側に移設
- ・ 阪急地下階、地上階、嵐電ホーム階をつなぐエレベーターを新設（下図のAです。）
- ・ 内方線付き点状ブロックを整備

② 嵐電四条大宮方面行きホームの改良

- ・ 阪急西院駅南改札口との接続のため、地上階と嵐電ホーム階をつなぐスロープを整備（下記④に記載の南改札口に設置しています。）
- ・ 内方線付き点状ブロックを整備

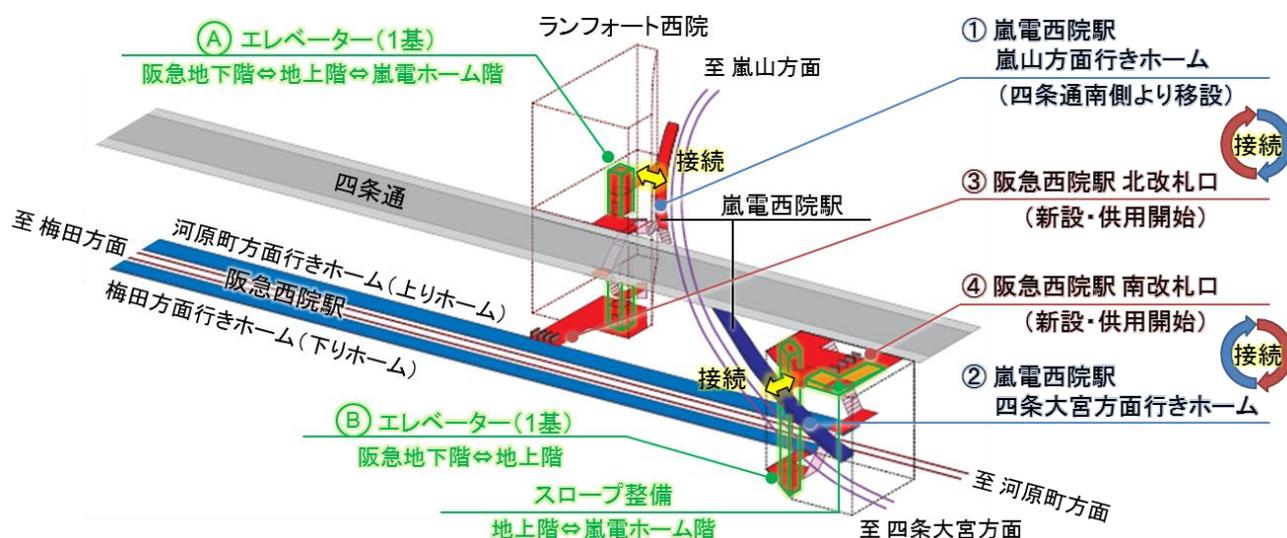
【阪急西院駅】^{さいいん} 駅所在地：京都市右京区西院高山寺町38番地の1

③ 北改札口の新設

- ・ 嵐電西院駅嵐山方面行きホームとの接続のため、阪急河原町方面行きホーム階に改札口を新設
 - ・ 阪急地下階、地上階、嵐電ホーム階をつなぐエレベーターを新設（下図のAです。）
- ※本改札口の新設は、京福西院ビルの建替えにより実現しました。

④ 南改札口の新設

- ・ 嵐電西院駅四条大宮方面行きホームとの接続のため、阪急梅田方面行きホームにつながる改札口を地上階に新設
- ・ 阪急地下階と地上階をつなぐエレベーターを新設（下図のBです。）



<今回の事業イメージ図>

ご参考

【鉄道駅総合改善事業費補助（連携計画事業）】

既存の鉄道駅の改良に係る事業と一体となって、鉄道駅空間の高度化を図るため、生活支援機能を有する施設を駅及び駅周辺において整備する事業です。

事業費のうち、国が1／3、地方公共団体（京都府・京都市）が1／3を補助します。

【新築ビル 概要】

建物名称 ランフォート^{きい}西院

所在地 京都市中京区壬生淵田町18番地

用途 店舗併用共同住宅

- ・1階店舗（コンビニエンスストア）
- ・2階～8階 賃貸住宅32戸

構造 鉄筋コンクリート造 地上8階建

工期 着工 2015年9月

竣工 2017年3月

その他 本ビルは京都府防犯モデル賃貸マンション仕様で、緊急時24時間窓口対応、居室内にはWi-Fiを完備しています。



【阪急西院駅】（今後実施する事業内容）

西改札口の改良および駅ビルの建替え

- ・改札口の地下化
- ・エレベーターの新設（3基）、エスカレーターの新設（2基）
- ・多機能トイレの整備
- ・生活支援機能施設の整備（駅ビル内）
- ・店舗等の設置（駅ビル内） ※建替え後の駅ビルは4階建てになります。

以上